

農業農村整備事業とその豊かな恵み～昔から今、そしてこれから～

農村振興局整備部設計課

開催日：令和4年9月20日（火）～9月22日（木）＜3日間＞開催

来場者：151人

内容：古来より、かんがい施設や農地の整備が地域の発展を支えてきた歴史（過去）、土地改良がもたらした豊かな恵み（現在）、これからの土地改良と最先端技術（未来）を紹介することにより、農業農村整備事業について深く理解していただくよう展示を行いました。具体的には、①農業農村整備事業の目的や歴史、現在、未来の形式でパネル展示、②世界かんがい施設遺産のうち近年認定された我が国の施設のパネル展示、③農業農村整備事業に関する動画の上映や先進技術の模型等の展示を行いました。



農業農村整備の足跡として、1.取水（堰）、2.ため池、3.水路、4.分水、5.排水、6.干拓の各歴史についてパネル展示、また、整備事業関係パンフレットを配布



世界かんがい施設遺産123施設のうち、我が国で認定されている44施設中、近年3ヶ年に認定された9施設についてパネル展示と動画放映



6地区事例における国営事業の紹介と事業実施後の地域活性化の状況についてパネル展示と動画放映



これからの取組として、GPSを用いた農業機械の自動操舵システムによる省力化技術等についてパネル展示と動画放映



農研機構が開発した、スマートフォンを用いて水管理を遠隔・自動管理する「ほ場水管理システム」の動作模型を展示



農業農村整備事業の計画的な実施に資するため、5年を1期として事業の実施の目標や事業量を定める「土地改良長期計画」等の説明動画を放映